

泉南市 津波ハザードマップ

保存版

このマップについて

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域に、りんくうタウン内(大里川)下水管渠の逆流水の想定を重ね合わせた地図です。

- 想定される津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのもので、津波規模等により、さらに浸水域が広がる可能性があります。
- 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波により災害の範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

凡例 Legend 凡例 略称

- 指定避難所 (Designated Evacuation Shelter) 지정 대피소
- 一時避難場所 (Temporary Evacuation Shelter) 일시 대피장소
- 広域避難場所 (Large-Scale Evacuation Site) 광역 대피장소
- 津波避難ビル (Tsunami Refuge Building) 쓰나미 피난 빌딩
- 消防分団詰所 (Volunteer Fire Station) 소방분대대기소
- 交番・駐在所 (Police Box/Substation) 파출소·주재소
- 防災用広報システム(スピーカー) (Disaster Information System (Loudspeakers)) 방재용 홍보 시스템(스피커)
- 津波避難対象地域 (Area Subject to Tsunami Evacuation) 쓰나미 대피 대상구역 (赤字はその地点の標高値)

津波浸水深 Tsunami Inundation Depth

海嘯浸水深 쓰나미 침수심

3.0m以上～4.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
0.3m以上～1.0m未満
0.01m以上～0.3m未満

津波避難ビルについて

- 津波避難ビルは、緊急時に一時的に避難する施設です。大規模災害時に市が開設する指定避難所とは異なりますのでご注意ください。
- 最新の津波避難ビル情報は、泉南市のホームページで随時更新しますので、ご確認ください。

施設名称	棟名	住所	避難場所	収容人数
西信達小学校		岡田5-24-1	3階以上の廊下、屋上	約610名
中部ポンプ場		りんくう南浜3-212	屋上	約380名
府営泉南岡田住宅	1棟	岡田7-1690-1	3階以上の廊下	約420名
府営泉南岡田住宅	2棟	岡田7-1690-2	3階以上の廊下	約780名
府営泉南りんくう住宅	1棟	りんくう南浜3-8	3階以上の廊下	約240名
大阪府済生会 泉南医療福祉センター		りんくう南浜3-7	3階以上の廊下等、屋上	約2680名
日本振興株式会社		りんくう南浜3-2	6階の社員食堂等部分	約210名
東洋クロス株式会社		樽井6-29-1	屋上部分	約180名
バンドー化学株式会社		男里5-20-1	4階空きスペース	約300名
朝日プラザシティ サザンコースト	A棟	男里6-15-2	3階以上の全階の共用部分	約940名
	B棟	男里6-15-1	3階以上の全階の共用部分	約630名

*収容人数は1人あたり1㎡の換算です

警報が発表されたら、すぐ避難!

If a warning is issued, evacuate immediately!
发出警報后, 请立即避难! 경보가 발령되면 즉시 대피!

1. 南海本線を越えて府道堺阪南線(旧国道26号線)を目標に、高いところや避難所を目指して避難しましょう。
2. 障害者や高齢者、小さな子どもを連れていたり、迅速な避難が困難な方、避難する時間がなくなった方は、「津波避難ビル」や近くの丈夫な建物の3階以上へ避難しましょう。
3. 車での避難は交通渋滞を招き非常に危険なため、徒歩か自転車での避難しましょう。



津波避難対象地域とは

津波が発生した場合に避難が必要な地域です。

津波水位と到達時間

今回の南海トラフ巨大地震による想定では、泉南市の最大震度は6強、最大津波水位は3.2mで、1mの津波の最短到達時間は75分と想定されています。

津波避難の3原則

津波警報が発表されたら、すぐに高台に避難してください。「避難3原則」は家族を守るために必要なことです。迷わず実行できるよう家族で話し合っておきましょう。

1 想定にとらわれるな

▶このハザードマップに掲載している津波の浸水域・到達時間は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。

2 最善をつくせ

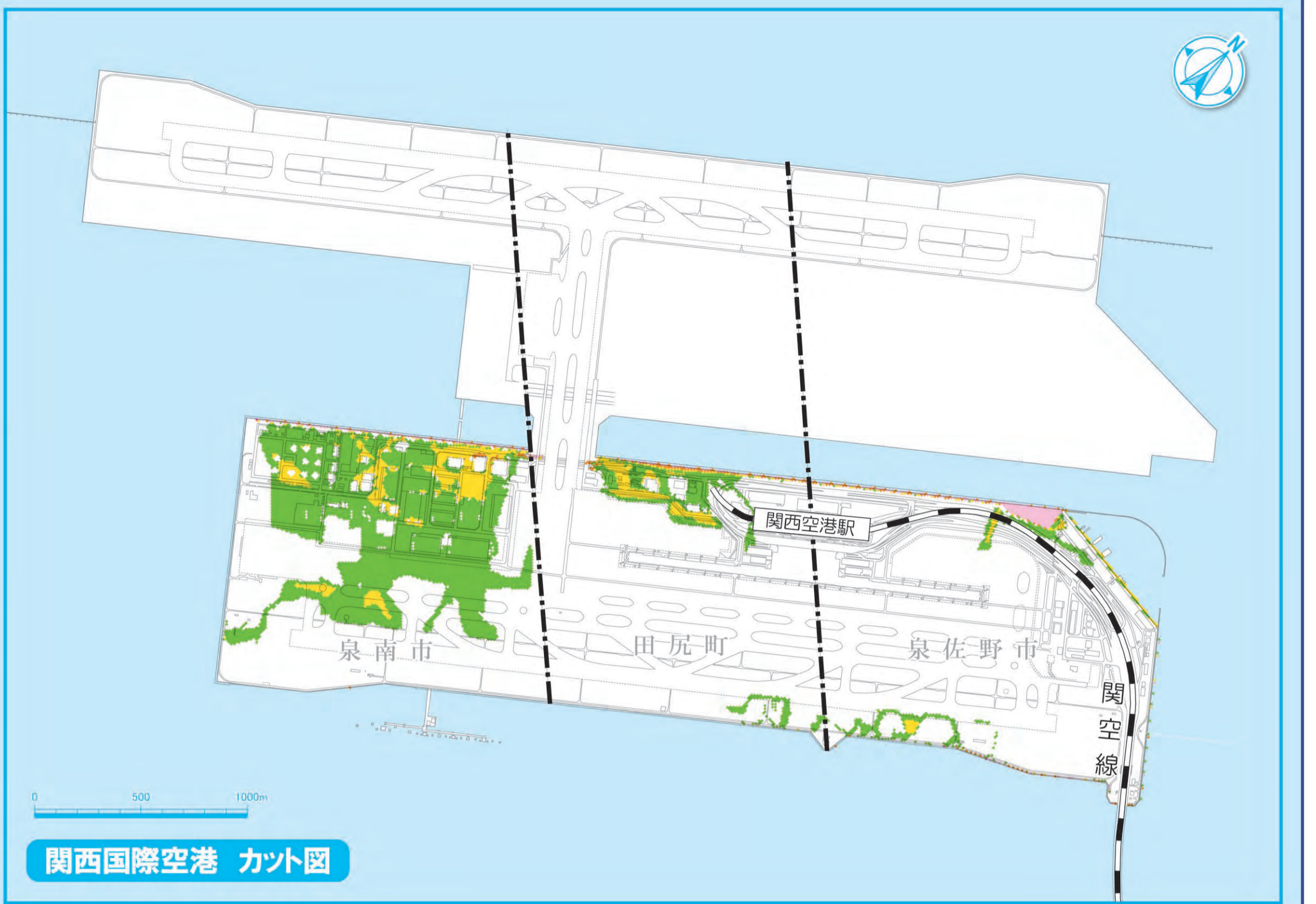
▶実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

3 率先避難者たれ

▶強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。
▶家族が離れたところにいる場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から離れた後、再会することとして、自分ひとりで避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにつながります。

※参照: 京都大学大学院 井田敏孝 教授著「人が死なない防災」(集英社新書)

津波警報が解除され、安全が確認されるまでは絶対に戻らない!



関西国際空港 カット図

